

## 「私のエンタメ体験史」雑感

小学校入学前、ダンスの中にSPレコードが一枚保管されていました。姉たちが踊りに使用したみたいです。「船頭さん」と「みかんの花咲く丘」でした。これらの曲を再生する蓄音機が家にはありませんでしたが、この二曲が私のエンタメのスタートです。当時、ラジオはNHKしか入らない真空管ラジオでした。ラジオは掛けっ放しで、「お山の杉の子」「尋ね人」「新諸国物語」「三つの歌」、津村謙の「上海帰りのリル」などが流れていました。民放のラジオが聞けるようになったのは、小学校の高学年になってからでした。私の小さい頃のエンタメはこの様にNHKのラジオを聞いて楽しむ程度でしたが、今より豊かな感じがしますし、記憶が新しく蘇ってきます。これらのエンタメの記憶が消えない様に、私のエンタメ体験史をウェブ上に纏めてみました